

内在的意義	神と人の関係		適用	
第一編	第二編	接ぎ木された命	第五編	クリスチャン生活をする事は、神の壮大な家からの、またそのための、命の供給を伴なう命の流れを享受することによってである
クリスチャン生活の内在的な意義	第三編	聖なる塗り油としての複合の膏油の内在的な意義と啓示——手順を経た三一の神の複合の、すべてを含む霊の満ち満ちた予表		
	第四編	まことのぶどうの木としてのキリストの中に住む	第六編	三一の神はキリストの中で、わたしたちの心の中を照らすことによってわたしたちの命となる

M1 クリスチャン生活の内在的な意義			
I	キリストを愛することによって、キリストを生きる	A	キリストを愛することはキリストを生きる道です
		B-E	キリストを愛する意味とキリストを愛する経験:
II	キリストのパーソン(御顔)の中ですべての事を行なう	A-B	キリストのパーソンと「御顔」の意義
		C-F	キリストのパーソンと「御顔」の経験
III	召されたその召しにふさわしく歩く	A-E	一を守ること、キリストの中へと成長し込む、キリストを学ぶこと、愛と光の中で生きること、霊の中で満たされること
IV	聖霊の管理を受け入れる	A-C	聖霊の管理の意義と表徴
			聖霊の管理の過程と目的

メッセージ 1

クリスチャン生活の内在的な意義

聖書：ヨハネ 14:21, 23. II コリント 2:10. 4:6-7

クリスチャンの生活はキリストを生きる生活であり、キリストを生きる道はキリストを愛することです

I. クリスチャン生活は、キリストを生きる生活です。わたしたちの生きることはキリストであるべきであり、キリストを生きる道はキリストを愛することです——ピリピ 1:19-21 前半. ガラテヤ 2:20:

A:キリストを愛することはキリストを生きる道です

*わたしたちはキリストを極みまで愛し、全存在を彼の上に集中することで、キリストを生きることができません

A. わたしたちはキリストを極みまで愛することによって、キリストを生きることができます。わたしたちはキリストを愛さないなら、キリストを生きることはできません。キリストを愛することは、わたしたちの全存在を彼の上に集中させる最上の道です——II コリント 5:14. I ヨハネ 4:19. ピリピ 1:19-21 前半. マルコ 12:30. 啓 2:4-5. ヨハネ 14:21, 23. 21:15-17. I ペテロ 1:8. I コリント 2:9. 16:22.

B-E:キリストを愛する意味とキリストを愛する経験:

キリストを愛する意味

*心と力、思いを尽くして主を愛し、全存在を彼に占有していただき、主と一つになることです

B. 神を愛するとは、わたしたちの全存在を、すなわち、霊、魂、体を、心、魂、思い、力と共に（マルコ 12:30）、完全に彼の上に置くことです。これは、わたしたちの全存在を彼に占有していただき、わたしたちの全存在が彼の中で失われることです。その結果、彼がわたしたちのすべてとなられ、わたしたちは日常生活の中で、実際的に彼と一になります。

*わたしたちがこのように主を愛するとき、神の深みを認識させられ、探らせられます。

C. わたしたちが彼を愛するとき、「その霊はすべての事柄、神の深みさえも探られ」ます（I コリント 2:10）。「探る」というギリシャ語は、積極的な探求を意味し、発見によってではなく、探し求めて得られた正確な知識を暗示します。神の霊は、キリストに関する神の深みを探し求めます。そしてそれらを、わたしたちの霊の中でわたしたちに示し、認識させ、あずからせます。

キリストを愛する経験

*キリストを愛することは、神の御子イエスを愛することであり、そのような生活によって私たちは御父と御子によって愛され、御父と御子の現れと訪れ、わたしたちと共に神・人の相互の住まいを造ってくださることを享受します。

D. クリスチャン生活をすることは、神の御子イエスを愛することです。それによってわたしたちは、御父と御子によって愛され、御子がわたしたちに現れることと、御父と御子がわたしたちに訪れて、わたしたちと共に相互の住まいを造ってくださることを享受します——ヨハネ 14:21, 23。

*キリストはかつてこの世において、神が愛である生活をしました。そして彼は今やわたしたちの命であり、この世において相互に愛し合う生活ができるようにして下さいます。

E. クリスチャン生活は、わたしたちの愛としての神ご自身をもって神を愛し、互いに愛し合う生活です。キリストはかつてこの世において、神が愛である生活をしました。そして彼は今やわたしたちの命です。それによって、わたしたちはこの世において同じ愛の生活をし、彼の失われた者を捜し求め罪人を救う務めの行程において、彼であるのと同じになります——I ヨハネ 4:16-19。ルカ 10:25-37。19:10。エペソ 4:20-21。参照、ガラテヤ 5:13-15。

クリスチャン生活をすることは、**すべての事をキリストのパーソンの中で、すなわち、キリストの御顔の中で行なうことです**

II. クリスチャン生活をすることは、キリストのパーソンの中で、すなわち、キリストの御顔の中で、すべての事を行なうことです——II コリント 2:10。4:6-7:

キリストのパーソンと御顔の意義

*「御顔」の原文は、目の周りの部分、神の表情を指していて、キリストの御顔の中で行なうこと、すなわちキリストの内側の思想や感覚の表示の下で行なうことを表明しています。

A. 「パーソン」を指すギリシャ語は、文字どおりには「御顔」です。第4章6節も同じです。それは目の周りの部分を指しています。表情は内側の思想や感覚の表示であって、その人全体を表明し、現します。

*使徒パウロの模範は、キリストの目の中で行ない、彼の御顔の中で生活し、行動したことです。

B. 使徒パウロは、信者たちにとって模範であり（I テモテ 1:16）、キリストの目の中で表現された彼のパーソン全体の表示にしたがって、キリストの臨在の中で生き、行動しました。

キリストのパーソンと御顔の経験

*それには、わたしたちの心を主に向ける必要があります。そうしておおいのない心で、イエス・キリストの御顔にある神の栄光を見つめることができるようになります。

C. わたしたちの心が主に向く時はいつも、おおいなわたしたちの心から取り除かれ、わたしたちはおおいのない顔をもって、栄光の主を見つめることができます。実は、わたしたちのそらされた心がおおいです。おおいのない顔は、おおいのない心であって、イエス・キリストの御顔にある神の栄光を見つめます——II コリント 3:16, 18。4:6-7。サムエル上 16:7。エペソ 1:18 前半。

***キリストの御顔は、彼のパーソンです。それはわたしたちの霊の中に内住する宝です**

D. 神の栄光は、キリストの御顔にあります。彼の御顔、彼のパーソンは、わたしたちの霊の中に内住する宝です——Ⅱコリント 4:6-7. I ペテロ 3:4.

器の中にある宝

***わたしたちがキリストの御顔の中に生きるとき、わたしたちの霊の中には極めて価値のある宝(キリストご自身のパーソン)があることを感じます**

E. わたしたちは、価値のない、もろい土の器ですが、わたしたちの霊の中には極めて価値のある宝、すなわち、キリストご自身の御顔、キリストご自身のパーソンがあります (Ⅱコリント 2:10. 4:6)。全宇宙において、イエスの御顔を見つめることほど尊いことはありません (創 32:30. 出 25:30. 33:11, 14. 詩 27:4, 8. 啓 22:4) :

1. わたしたちは彼の臨在の中に生き、彼の存在の表示を見るときはじめて、彼がわたしたちにとってそのような宝であると感じます。わたしたちに問題があるなら、わたしたちはただ彼に告げる必要があります。彼はわたしたちの内側におられ、わたしたちと顔と顔を合わせています——ピリピ 4:6。
2. 神を見ることは神を得ることに等しいのです。それは神の要素をわたしたちの中へと受け入れて、わたしたちを造り変えていただくことです (ヨブ 42:5-6. マタイ 5:8)。今日わたしたちが見ている神は、究極的に完成された霊です。わたしたちは霊の中で彼を見て、神の豊富をわたしたちの存在の中へと吸収し、日ごとに神聖な造り変えの下にすることができます (Ⅱコリント 3:18 後半. マタイ 14:22-23. コロサイ 4:2)。

***ですから、わたしたちは心を、わたしたちの霊の中の主に向けることを訓練する必要があります。そうして彼を見つめ、反映することを通して、彼の栄光のかたちへと造り変えられていきます。**

F. わたしたちは霊の中で心を主に向け、顔と顔を合わせて彼を見つめ、他の人たちの中へと彼の光を放つとき (イザヤ 60:1, 5)、わたしたちは彼の栄光のかたちへと造り変えられる過程の中にあり、その日に至って、「わたしたちは彼のように (なります) ……」。なぜなら、わたしたちは、彼がそうであるように、彼を見るからです——Ⅱコリント 3:18-4:1. I ヨハネ 3:2. 啓 22:4.

クリスチャン生活をするとは、召されたわたしたちが、その召しにふさわしく歩くことです

Ⅲ. クリスチャン生活をするとは、召されたわたしたちが、その召しにふさわしく歩くことです——エペソ 4:1-4 :

***第一項目:からだの実際であるその霊の一を保つことを熱心に努めることです**

A. 神の召しにふさわしく歩くことの第一の項目は、わたしたちが神聖な属性によって、また神聖な属性をもって強められた、造り変えられた人性の美德をもって、キリストのからだの実際であるその霊の一を保つことを熱心に努めることです——エペソ 4:1-4 :

1. 栄光が現されたイエスの霊の中には、イエスの造り変えられた人性があります。一つからだのために一つ霊から飲んで流し出すことは、人なるイエスの霊から飲んで流し出すこと、すなわち、へりくだり、柔和、忍耐という、神性によって豊かにされた人性の美德から飲んで流し出して、愛の中で互いに担い合うことです——ヨハネ 7:37-39 前半. I コリント 12:13. 使徒 16:7. エペソ 4:2-3。
2. わたしたちが主の御名を呼び求め、主から養いを得るなら、人としてのイエスを享受し、彼の引き上げられた人性のすべての美德は、イエスの霊の中でわたしたちのものとなります。それによってわたしたちは実際の霊の中で回復された召会生活を実行します。そして実際の霊はキリストのからだの実際です——I コリント 1:2. 10:3-4, 17. 12:3 後半, 13. 16:13. エペソ 4:3-4 前半。

***第二項目:すべての事がかしらであるキリストの中へと成長し込む**

B. 神の召しにふさわしく歩くことの第二の項目は、わたしたちがすべての事がかしらであるキリストの中へと成長し込むことです——エペソ 4:15-16 :

1. わたしたちはすべての事でキリストの中へと成長し込んで、キリストのからだを建造するために、キリストを、すべてを含む宇宙的な置き換えとして享受し、一人の新しい人を生み出す必要があります。ですから、わたしたちは「彼に聞」き、「イエスだけ」を見なければなりません——マルコ 9:7-8。
2. キリストでない事物や人は何であれ、神は「**解雇**」します。神は彼の旧約エコノミーにおけるあらゆるものをキリストに置き換えました——1:1-8. マタイ 17:3-5. コロサイ 2:16-17. ヘブル 10:5-10. 11:5-6. 参照、イザヤ 22:20-25。
3. 神はわたしたちを創造したとき、わたしたちを「**雇用**」しました。神はわたしたちを十字架につけ、キリストと共にわたしたちを十字架に釘づけたとき、わたしたちを「**解雇**」しました。神はわたしたちをキリストと共に復活させたとき、わたしたちを神・人という新しい種族、神の団体的な傑作としての神の新しい発明とすることによって、わたしたちを「**再雇用**」し、神の当初の意図へとわたしたちを戻しました。それはわたしたちを創造し、神の栄光を現し、神の団体的な表現を得ることでした——創 1:26. ガラテヤ 2:20. エペソ 2:6, 10, 15. イザヤ 43:7。

第三項目：イエスにあるあの実際(なる方)にしたがってキリストを学ぶ

C. 神の召しにふさわしく歩くことの第三の項目は、わたしたちがイエスにあるあの実際にしたがってキリストを学ぶことです——エペソ 4:20-24 :

1. 「イエスにあるあの実際」は、四福音書に記録されているような、イエスの生活の実際の状態を指しています。イエスは神の中で、神と共に、神のためにすべてを行なう生活をしました。神は彼の生活の中におり、彼は神と一でした——20-21 節。
2. 彼は四福音書において啓示されているように、地上での彼の生活において模範を設立しました。それから彼は十字架につけられ、復活させられて命を与える霊と成りました。それは彼がわたしたちの中へと入ってわたしたちの命となるためでした。わたしたちが彼から学ぶのは、彼の模範にしたがってであり、わたしたちの天然の命によってではなく、復活におけるわたしたちの命としての彼によってです——I コリント 15:45 後半. コロサイ 3:4。
3. わたしたちは主を愛し、主と接触し、主に祈るとき、福音書で描写されている鑄型、形、模範にしたがって自動的に彼を生きます。こうして、わたしたちはこの鑄型のかたちに形づくられ、同形化されます。これが、キリストを学ぶことが意味することです——マタイ 11:29. ローマ 8:29。

* **第四項目：愛と光の中で生き、主の愛の本質と、輝く要素で満たされます。**

D. 神の召しにふさわしく歩くことの第四の項目は、わたしたちが愛と光の中で生きることです——エペソ 5:2, 8 :

1. わたしたちは神聖な性質にあずかる者、神聖な性質を享受する者となる必要があります (II ペテロ 1:4)。神聖な性質は、神が何であるかです。すなわち、神は霊であり (ヨハネ 4:24)、神は愛であり (I ヨハネ 4:8, 16)、神は光です (1:5)。霊は神のパーソンの性質であり、愛は神の本質の性質であり、光は神の表現の性質です。
2. わたしたちはみな主との個人的な時間を十分に費やして、わたしたちの霊の中で主とひそかに交わる必要があります。それによってわたしたちは、主の愛の本質で満たされて、主にわたしたちを通して他の人たちを牧養していただくことができます。またそれによってわたしたちは主の輝く要素で満たされて、他の人たちにわたしたちの中の主を見せることができます——ヨハネ 4:24. ルカ 15:20. マタイ 5:15-16。

* **第五項目：霊の中で満たされてキリストをあふれ流すことによって生きる**

E. 神の召しにふさわしく歩くことの第五の項目は、わたしたちが霊の中で満たされてキリストをあふれ流すことによって生きることです——エペソ 5:18 :

1. 神に語り、歌うこと、朗詠すること、神に感謝をささげること、キリストを恐れつつ互いに服従し合うことは、霊の中で満たされることの流れ出であるだけでなく、霊の中で満たされるための道でもあります——19-21 節。
2. 霊の中で満たされることは、キリストの豊富で満たされてキリストの豊満、キリストのあふれ流れとなることです。わたしたちは主を呼び求め、主の御言を祈り読みすることによって、主

を恵みの上にさらに恵みとして絶えず受けて、主の豊満、主のあふれ流れとなることができま
す——3:8. 1:23. 3:19 後半. ローマ 10:12-13. エペソ 6:17-18. ヨハネ 1:16。

クリスチャン生活をするのは、**環境の中で聖霊の管理を受け入れる**ことです：

IV. クリスチャン生活をするのは、**聖霊の管理を受け入れる**ことです：

***わたしたちが聖霊の管理を受け入れることにより、わたしたちの天然の外なる人の澱、くずが取り
除かれ、わたしたちの香りが変えられ、キリストの純粋な香りを醸(かも)し出すに至ります**

A. 神が願っているのは、わたしたちが聖霊の管理を受け入れること、すなわち、神がわたしたちを
器から器へあけて、わたしたちの天然の外なる人の澱、くずを取り除くことによって、わたした
ちの味を取り除き、わたしたちの香りを変えることであって、ついにわたしたちがキリストの純
粋な味を持ち、キリストの純粋な香りを醸(かも)し出すに至るということですから——エレミヤ
48:11. IIコリント 2:14-15. 雅 4:16. 列王下 4:8-9：

1. 「霊の父」は試練と懲らしめを通してわたしたちを取り扱います。それは「わたしたちが彼の
聖にあずかる」ためです——ヘブル 12:4-13。
2. 試練と懲らしめを経過したことがない者たちは、器から器へあけられたことはありません。こ
ういうわけで、彼らの天然の個性、外なる人、自己から出て来る澱、くず、沈殿物の味は、彼
らの内側に残ったままであり、彼らの香りは変わっていないのです——エレミヤ 48:11. ロー
マ 8:28-29. 雅 4:16。

***マリアが非常に高価で純粋なナルドの膏油が入った石膏の壺を砕き主の上に注いだとき、「その家
は、膏油の香りで満たされ」ました。**

B. マリアは非常に高価で純粋なナルドの膏油一リトラが入った石膏の壺を持っていました。彼女が
その壺を砕き、それを主の上に注ぎ出したとき、「その家は、膏油の香りで満たされ」ました—
—ヨハネ 12:2-3. マルコ 14:3. 参照、雅 1:12。

***石膏の壺はわたしたちの外なる人(器)を表徴します。それは多くの異なる面において砕かれる必
要があり、それによって内なる人が出て来ることができます。**

C. 石膏の壺はわたしたちの外なる人を表徴します。それは砕かれる必要があり、それによって内
なる人が出て来ることができます。主はとても多くの異なる面において、わたしたちの中で、また
わたしたちの上で働きます。その目的は、土の器、石膏の壺、外なる殻を砕くためです——IIコ
リント 4:7. ヨハネ 12:3, 24. ローマ 8:28-29。

***わたしたちの天然の存在は何の意味もありません；その霊がわたしたちの存在の中へと構成し込
んだものだけが勘定されます**

D. わたしたちの天然の存在は何の意味もありません。その霊がわたしたちの存在の中へと構成し込
んだものだけが勘定されます。聖霊の管理は、わたしたちの天然の性情と習慣を破壊し、聖霊の
構成をもたらして、わたしたちを円熟と甘さにもたらしめます。神はわたしたちの環境におけるあ
らゆるものを案配して、わたしたちの天然の存在を取り壊します。それによって彼はわたしたち
の中で新しい性情、新しい性格、新しい属性を形成します——ヨハネ 3:6. IIコリント 5:17. ガ
ラテヤ 6:15。

***わたしたちが砕かれることができない二つの主要な原因があります：**

第一に、暗やみの中で生きているからです。第二に、あまりにも自分自身を愛しているからです。

E. 砕かれることができない二つの主要な原因があります：

1. ある人が砕かれていないのは、彼が暗やみの中で生きているからです。彼は自分に対して起こ
るすべての事において、すべてを他の人々や環境のせいにします。彼には啓示がなく、神の御
手を見ておらず、神が彼を対処している方であるということを見ていません——参照、ヨブ
10:13. エペソ 3:9。
2. ある人が砕かれていないのは、彼があまりにも自分自身を愛しているからです。わたしたちは
神にわたしたちから自己愛を取り除いてくださるよう求めなければなりません。すべての誤
解と不満にはただ一つの原因があります。それは隠れた自己愛です。

*わたしたちは、わたしたちが経過するあらゆることは、それは神の命がわたしたちを通して解放され、わたしたちの中で表現されることであることを見る必要があります。

*このために、わたしたちの外なる人は砕かれる必要があります。そうして内なる人が出て来て、見られることができるようになります。**これが主に奉仕する(仕える)道です。**

F. わたしたちは、わたしたちが経過するあらゆることにはただ一つの目的があることを認識する必要があります。それは、神の命がわたしたちを通して解放され、わたしたちの中で表現されることです。どうかわたしたちの外なる人がそのような程度にまで砕かれて、内なる人が解放され、表現されることができますように。これが尊いことであり、これが主のしもべの道です——ヨハネ 12:24-26. II コリント 4:12。

まとめ

わたしたちの生活が人に与える印象はどのようなものであるべきでしょうか・・・それは
キリストを愛し、キリストを生きる生活をしている人、
生活の中で、キリストの御顔を見、反映している人、
霊であり、愛であり、また光である神とふさわしい人、
外側の人がかたかれて、神に栄光を表わさせる人であることです。